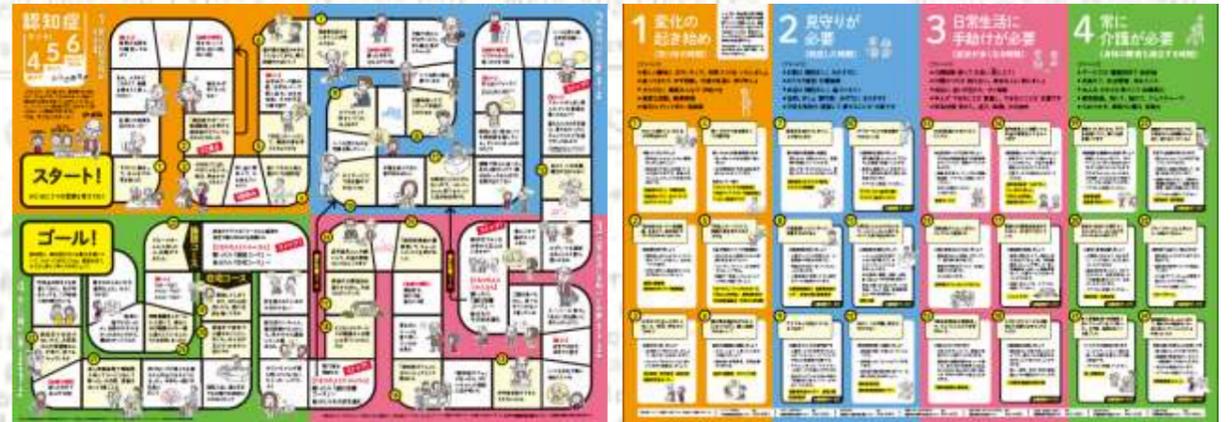


平成 29 年度「みんなの幸せづくりをすすめる研究会（ポヌール会議）」第 3 回オープンミーティング
 （平成 29 年 11 月 13 日@茨城県総合福祉会館） **かわら版**

第 3 回は、53 名の参加がありました！



今回は、「ボランティア・市民活動フェスティバル 2017」の体験型プログラムの一つに位置付けた「認知症 456（すごろく）」を体験しました。
 これは、認知症への理解を深めるもので、マスの中に介護サービスの説明や、体操や脳トレーニングの指示などもあります。参加者同士で盛り上がり実践できました。



認知症 456 を作成した水戸市東部高齢者支援センターと「認知症サポーター養成講座」を受けた「認知症 456 すごろく隊」の皆さんに進行していただきました。



認知症 456
 （すごろく）とは？



認知症になっても、住みよいまちを作るため、認知症について理解を深められるツールです。
 市民が正しく認知症を理解するためのテキストである「認知症 123（いち・に・さん）」と併用しながら楽しく学べる教材として、水戸市東部高齢者支援センターが開発しました。
 裏面には、水戸市内の社会資源について記載されています。
 詳細は、水戸市のホームページにも掲載されています。
<http://www.city.mito.lg.jp/001245/kourei/ninchishou/p017599.html>

体験者からは、「サロンで使いたい」などの前向きな意見が多くありました。
 地域づくりをしかける支援者が、生活支援体制整備事業等をすすめるツールとしても活用できます。
 今後の地域づくりでは、地域共生社会の構築をすすめるための相互理解が必要です。他人事になりがちな地域の課題を、我が事と意識させるために社協がすべきことはなにか、明確にしていくことが大切です。
 この体験を通じてイメージできると良いと思われまます。

まとめ！



どこから来ましたか？



水色：一般の参加があった市
 桃色：社協職員の参加もあった市



- ❶「地域共生社会実現推進シンポジウム」東海村社協主催
 第 4 回オープンミーティング
 1 月 17 日（水）13：00～16：30
- ❷第 5 回課題検討会議（エントリー制）
 2 月 21 日（水）13：00～16：00（予定）
- ❸第 6 回課題検討会議・年度末まとめ（エントリー制）
 3 月 14 日（水）